

(様式2(1))

事業所名 恵泉グループホーム

目標達成計画

作成日: 平成28年6月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	防犯上からとはいえ、玄関を施錠することが拘束に該当することは職員が理解したうえで本人の意向に応じて開錠しているが、玄関の開錠に向けて継続して検討していく必要がある。	玄関の開錠に向けての職員体制を強化する。	玄関の開錠を検討していくために、外に出かけた方の思いや行動を十分にアセスメントしていくとともに、改めて身体拘束についての基本的な考えを職員に周知し職員の協力体制を強化する。	12ヶ月
2	4	施設の透明性を高めるためには、現況の構成委員の意見に甘んじることなく様々な方に参加していただくことが重要である。家族の参加を働きかける工夫をしてみてもどうか？	施設の透明性を高めより良いサービスを提供するために、様々な視点で意見を伺える場としたい。	運営推進会議参加について、家族から見た意義をPRしていくことで家族の参加率を高める。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。